

こんにちは！11月号の防災まちづくりNEWSをお届けします。この防災まちづくりNEWSでは、防災まちづくり担当の事業報告、今後の訓練情報、そして防災に関する豆知識など、盛りだくさんの内容でお届けいたします。どうぞ一読いただき、防災意識の向上にお役立ていただければ幸いです。

Topic 01 市民防災推進委員会で国分寺まつりに参加しました！

今年度は新しい試みとして、防災クイズを実施しました。

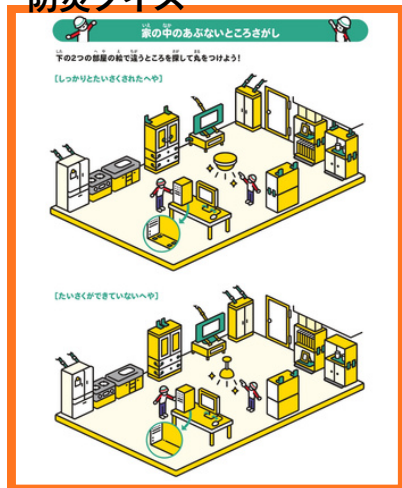
国分寺市では、災害時に自宅での生活に危険がない場合は、在宅避難を検討していただくことをお願いしています。

在宅避難をするためには、日頃から自宅の中を安全にする必要があります。自宅の中を安全にするためのポイントを市民の皆様にお伝えするために以下の防災クイズを実施しました。ぜひ自宅の中の点検をする際の、ポイントとしてご活用いただければ幸いです。

当日は479名の方にご参加いただき、ご参加いただいた方には啓発品（防災グッズ）をお配りしました！



防災クイズ



自宅の中を安全にするポイント



Topic 02 バス研修に参加しました①

10月30日（木）に、市民防災推進委員会主催の防災バス研修に参加し、福生市防災食育センターに行きました。この施設は防災施設として4つの機能（避難所機能・拠点機能・備蓄機能・応急給食機能）を、食育施設として2つの機能（学校給食機能・食育学習機能）を持ち合わせており、平時は子どもたちの食育の場、災害時は市民を守るための場として活用される2面性を持った施設でした。市民防災推進委員同士の交流も図ることができ、とても充実した一日となりました。



Topic 03 バス研修に参加しました②

11月13日（木）に、戸倉自治会東地区防災会主催の防災バス研修に参加し、沼津港大型展望水門「びゅうお」に行きました。この水門は、東海地震の津波対策の一環として平成16年に完成した水門です。津波をシャットアウトする扉体は、幅40m、高さ9.3m、重量は406tと日本最大級で、制御設備は地震計と連動し地震発生後約5分で自動的に完全閉鎖されるそうです。国分寺市は災害時津波の心配はない地域ですが、防災意識を高めるとい意味で、とても有意義なバス研修だったと思います。また、同じ地域に住む住民同士だからこの関係性を目の当たりにし、ぜひこのような取り組みを続けていただけるように、市としても支援を続けていきたいと思いました。お声かけいただきありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。



Topic 04 在宅避難の備え

災害が発生したら避難所へ行く前にもまず、公園や学校などの避難場所でも安全を確保しましょう。避難とは「難」を「避」けることであり、安全な場所にいる人は避難の必要はありません。ライフラインが停止した場合であっても自宅の生活に危険がない場合には、自宅で避難生活を送ることを検討しましょう。

①建物等の安全対策

住宅耐震診断・耐震化 / ブロック塀等撤去 / 通電火災対策 / 家具転倒・落下防止対策 等

②ライフライン途絶対策／防災用品購入・備蓄

ライフラインの途絶に備えて、日頃から対策しておきましょう。
電 気…懐中電灯／ろうそく／うちわ／予備の電池 等
ガ ス…カセットコンロ／ガスボンベ／防寒着 等
水 道…保存飲料水／紙皿／ラップ 等
下水道…携帯トイレ 等
通 信…ラジオ／モバイルバッテリー 等

③ローリングストックによる備蓄

備蓄品は最低3～7日分確保しておくようにしましょう。効率よく備蓄するためには、ローリングストックの活用を検討してみてください。

<ローリングストックとは>

- 1 普段から使っている日用品・食料等を少し多めに購入
- 2 期限が近くなっているものから消費
- 3 消費した分を買い足す

